

## パラオ国の高官/行政官が海洋温度差発電システムと 海洋深層水を利用した特産品開発を学ぶために来沖します！

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、島嶼国、特にパラオ共和国への「久米島モデル」\*展開可能性の検討を目的とした基礎調査を2023年9月から1年間の予定で実施しています。

**久米島モデル**：海洋深層水と表層水の温度差を利用し、CO<sub>2</sub>を排出することなく発電できるクリーンな「海洋温度差発電（Ocean Thermal Energy Conversion, OTEC）」と、その発電で使用した後の海洋深層水を農業・水産業・製造業・観光業等で活かす産業振興がセットで行われている社会システム

この一環で、パラオ側の公共基盤・産業・商業大臣をはじめとする主要関係者8名が来日し、沖縄県、九州地方ならびに東京都において、関連施設の視察、行政機関や事業者との表敬・協議を実施致します。主な日程は以下のとおりです。

案件名：大洋州地域太平洋島嶼国等における海洋温度差発電および久米島モデル展開に係る情報収集・確認調査  
期間：2023年11月5日～11月10日（沖縄滞在は、11/6～11/9）  
場所：那覇市、久米島町

＜滞在中の主な日程＞ \*変更される場合がございますので取材については事前にご相談ください。

11/5(日)	福岡-(九州大学レンズ風車)、佐賀-佐賀大学今日エネルギー研究所)
11/6(月)	来沖
11/7(火)	10:30 沖縄県表敬（照屋副知事） 16:30 久米島表敬（桃原町長、中村副町長）
11/8(水) (終日)	沖縄県海洋深層水研究所、海洋温度差発電実証施設、 飲料水製造工場、海洋深層水を利用した養殖施設ほか
11/9(木)	東京へ移動

取材をご希望の場合は、下記までご連絡下さい。

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 沖縄センター 研修業務課 江口 秀夫(えぐち ひでお)  
TEL:098-876-6000(代表) FAX:098-876-6014  
E-mail: Eguchi.Hideo2@jica.go.jp